

夏を整理する2023

茗溪塾塾長 長谷誠基

夏期講習では受験生は今までの学習の総復習、それ以外の学年では一学期の総復習と2学期の予習をテーマに行いました。さらに夏期集中特訓を4日間行いましたが、各会場たくさんの生徒が参加してくれました。

会場で行ったアンケートでは、『国語では長文の記述や「一般化」という技を身につけることができました。算数でも習った単元の定着の仕方や、難しい問題へ挑戦し、多くの問題ができるようになった。』『参加する前はやりたくなかったけど、4日間やってみて結構分かったことが多く良い経験になった。』『いろいろなテストをして自分のできないところがわかった。ファイナルテストで点数が上がっていたので達成感を得られた。』など書いてくれました。参加していただいた皆さん本当にありがとうございます。今後の特訓などでも頂いた声を生かしていきたいと思います。

また、新学期を迎えるところで、親子説明会や激励会なども行われました。その中では今後のスケジュールや志望校別特訓、模擬試験のことなど盛りだくさんな内容をお話ししましたが、その中で重要なことを1つ確認しておこうと思います。それは、『夏頑張った成果が成績に現れるのは少し時間が必要』ということです。夏期講習で受験生は長時間の学習を行い、結構できるようになったという感触を持っている生徒も多いと思います。しかし、9月の初めに模擬試験を受けてみると、『あれ？そんなに変わっていない。』という結果になることも多くあります。それは、今後過去問や模擬試験を解いていくときにも重要になることですが、単元学習と総合問題の解くプロセスの違いにあります。単元学習は少数のテーマに絞ってあるので、ある一定の考え方に沿って解いていくと、解決できるものが多くありますが、総合問題は自分でどんな考え方を使って解くのか？または、関連した知識を引き出しながら解くなど、アプローチの仕方がより幅広くなります。ですから、夏に頑張った知識や解き方を、総合問題を解きながら整理し、未取得のものを埋めていくという作業を並行して進めていくことで、だんだん得点が取れるようになっていきます。ですから、ここからの学習は総合問題を解きながら、間違えた問題のやり直しと解き方の確認、知識の整理を交互にやっていくことが重要です。模擬試験や過去問を解くごとに、必ず教科ポイントを確認するようにしてください。

9月からは各学年志望校別特訓も始まります。より勉強の密度を上げて、第1志望に届く学習を積み上げていきましょう。